

奈良県立美術館 スクールプログラム 2026

奈良県立美術館は、子どもたちが主体的にアートに関わり、心豊かに成長するとともに、生涯にわたり美術鑑賞や造形活動、展示活動に参加する素地を育むため、学校と連携した取り組みを進めています。

先生のための特別研修会

展覧会ごとに先生のための特別研修会を実施しています。展覧会についての学芸員のレクチャー、自由見学、「学校と美術館の連携に関する研究会」を行います。自己研鑽の場として、学校教育における美術館活用を研究する場として活用ください。※要事前申込。美術館 HP からお申込みください。

対象：奈良県内の小・中・高・特別支援学校の教員(図工・美術専科以外の教員も参加可)

日時： 4月24日(金) 特別陳列「日本の伝統文化を知る 刀と撥鏝」展

7月24日(金) 夏休み特別研修会:鑑賞／制作をテーマにした研修会を行います

9月下旬(日程未定) 特別展「近代日本画名品展」(仮)

令和9年1月下旬(日程未定) 特別展「伝統文化の現在 墨と和紙の世界」(仮)

学校団体の見学会

修学旅行や社会科見学など、学校行事での美術館の見学会を受け入れています。ワークシートを用いた鑑賞活動、学芸員による展覧会解説、アートカードを使った対話型鑑賞教室など、目的に応じてプログラムを実施します。※事前にご相談・申し込みください。

ミーツ・アーティスト in スクール

令和7年度から始まった出前授業です。アーティストやクリエイターを学校に派遣して特別授業を行います。プロフェッショナルな表現者が学校現場に赴くことで、生徒児童は普段とは違う経験をすることができます。第一線で活躍するアーティストたちにとっても、子どもたちのみずみずしい感性に触れる時間は貴重なものになっています。

対話型鑑賞教室「アートカードの出前授業」※令和8年度は実施しません

図工・美術科の「鑑賞」の授業の一環で行う出前授業です。対話型鑑賞とは、グループのなかでの対話を通して、美術作品に対して自分なりの意味や価値を見出し自分の言葉で語る活動です。この授業で生徒児童はアートカードを使って楽しみながら美術鑑賞のコツを学びます。